

和農大だより

第57号

平成29年
2月
発行
和歌山県
農業大学校

農産物直売所
「和農市」大盛況！

農業大学校では、日頃学生達が実習で栽培した果樹・野菜・花などを販売しています。この「和農市」は学生が主催するもので、日頃の栽培実習だけでなく、出荷調整や販売などの学習をする場でもあります。

毎週木曜日の午後2時～3時まで開催しており、「和農市」と書いた赤い幟(のぼり)が目印です。
(木曜日が祝日の場合は休みとなります)。

売り切れの際はご容赦下さい。



開店前から長蛇の列

プロジェクト研究 発表会を開催

農業大学校では、専攻別に地域課題等をテーマとした「プロジェクト学習」について取り組んでおり、その中で学生達は課題解決方法や商品開発について学んでいます。

平成28年12月20日には、本年度のプロジェクト発表会が開催され、コースで選ばれた研究課題について2年生が報告しました。職員と学生による審査の結果、野菜コースが最優秀賞に選ばれました。

アフリカ視察団 研修で来校

この研修は、2つの課題別研修で実施されるもので、アグリビジネススによって経済開発や農業従事者の収入向上を目指すことを目的に行われているものです。

最優秀賞の野菜コースは1月に行われた東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会で発表し、優秀賞を獲得して2月中旬に開催される全国大会に出場します。3コースとも発表に向けて努力し、協力して取り組んだ成果を見る事ができ、また1つ成長した姿が見られたと感じられる発表でした。

和歌山県には平成28年11月7日から1週間滞在し、当校には11月10日(木)に来校されました。当校の研修では、和歌山農大の歴史や教育理念、アグリビジネスを指した授業内容や卒業時の高い進路決定率等について大江校長が講演し、その後各国の皆様と熱心な質疑応答が行われました。

講演の後は、校内ほ場の視察を行い、アフリカでは珍しいハクサイや収益性の高いトマト等に興味津々のようでした。

また、柿(平核無)の試食もして頂いたところ、大変好評でした。



野菜コース発表の様子

発表のテーマ

【野菜コース】加工用トマトを用いた六次産業化を目指して

生産者、加工業者、農業大学校等が連携して紀北地域での加工用トマト栽培法の検討を行い、さらに農業大学校オリジナルケチャップの開発という六次産業化を目指した発表を行った。

【花きコース】コウヤマキの挿し木技術の確立

【果樹コース】カキ低樹高栽培の実用化に向けて～果実品質の比較～



カキ試食の様子

第四三回農大祭を開催

本校では、実りへの感謝と農産物の販売を通して地域の皆さんとの交流を深めることを目的として、農大祭を毎年開催しています。今年度は平成28年12月4日(日)に第43回目を開催しました。

農大祭恒例の直売は、学生が丹精込めて育ててきたもので、その出来は、「果樹」、「野菜」、「花き」ともに上々であり、この新鮮とれたて農産物を求めて、開会式前から販売物目当てに長蛇の列ができるほどでした。

直売以外にも、お子様が楽しめる「ゲームコーナー」を開設したり、農大音楽部は、授業が終わってから、毎日遅くまで練習したアニメソングを披露しました。



直売コーナーの様子



もちまきの様子

また、学生たちの日頃の学習内容についてパネル展示をしたり、学生が案内する農大ほ場見学も実施しました。

一年生が金剛山登山を実施

平成29年1月26日(木)、絶好の冬日和の中、金剛山登山を行いました。和農大では、毎年この時期に1年生全員で実施する伝統行事です。

学生達は励まし合いながら、山頂を目指して歩き、無事に全員が登頂できました。山頂では、霧水が美しく、青空とのコントラストが見事でした。思いつきり体を動かさせたからか、帰りのバスで皆が笑顔だったのが、印象的でした。



ライブカメラ前での記念撮影



専修学校 **和歌山県農業大学校**

〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422
TEL 0736-22-2203 FAX 0736-22-7402
HPアドレス <http://www.ag-wakayama.ac.jp/>
メールアドレス wa_noudai@ag-wakayama.ac.jp

